教育だより新潟 学校 家庭 地域 のこころをつなぐ

かけはし Vol.73

令和８年(2026年)11月２日発行　新潟県教育委員会

＜１面＞新潟県教育月間プロジェクト「NIIGATAスクールストーリー」
＜２面＞外国につながる子どもたちと共につくる多様性豊かな地域
＜３面＞家庭での備え、出来てますか？
　　災害から家族を守るための大切なこと。
＜４面＞学びピアTOYANO2026 ／　アンコンシャスバイアスとは

11月は「新潟県教育月間」
『 NIIGATA スクールストーリー 』 エピソード募集中！！
～学校や先生との思い出をお聞かせください～

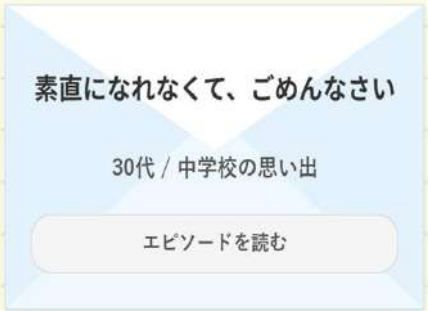
　新潟県では11月1日を「新潟県教育の日」、11月を「新潟県教育月間」と定め、県民の教育に対する関心と理解を深める取組を進めています。
　今年度は、先生との思い出や学校での忘れられない出来事などを募集する「NIIGATAスクールストーリー」を実施しています。心に残る先生の一言や、今になってわかる先生の支え、懐かしい学校での思い出など、皆さんのエピソードを通して、教職の魅力や学校の大切さを改めて感じ、社会全体で教育を支えるきっかけにしたいと考えています。保護者の皆さんも、ぜひ思い出をお寄せください！



【実際に投稿されているエピソード】



当時、こどもの自殺が世間の話題になっていました。
卒業式後の最後の授業で、担任の先生からエールをいただきました。
「絶対に死ぬな。何があっても。
　死にたくなったら必ず私のところにくること。」
強い言葉で何度も言われたので忘れられません。
当時小学生でしたが、これから何か困難なことがあったら先生のところに行けばなんとかなるのかもしれない、そう思ったとき、これから先の将来の不安が和らいだような気持ちになりました。



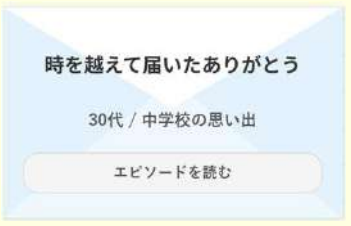
困らせることばっかりで、生意気で、反発して、からかってしまったり、 今思い出すと、胸が苦しくなります。
先生、辛かったのかもしれないな。ごめんね先生。
大人になって、子供ができて、先生の気持ちがわかってきて、 子供には「先生大事にしてね」って言うようにしてます。
先生のおかげで、数学、子供達にちゃんと教えられてるよ！
ありがとうせんせい！

⇓ 他にも掲載していますので、ぜひ、ご覧ください！









外国につながる子どもたちと共につくる多様性豊かな地域
～新潟県国際交流協会の取組～

1 「外国につながる子ども」って？

いま、日本の学校では、多様な文化や背景を持つ子どもたちが共に学んでいます。その中には、「外国につながる」子どもたちもいます。「外国人の」ではなく「外国につながる」と表現しているのには訳があります。外国籍を持ち、海外から日本に来た子どもだけでなく、日本で生まれ育ち日本国籍を持ちながら、家庭で日本語以外の言葉や文化に触れている子どもなど、その背景は様々だからです。

学校生活では、日本語での学習や気持ちの伝達、母国とは異なる教育制度などに戸惑い、困難や不安を抱える子どもや保護者もいます。こうした子どもたちを支えるためには、学校だけでなく、地域の関係者が連携して取り組むことが大切です。

2 新潟県国際交流協会の取組

check

子どもや保護者、支援者が孤立することなく、地域全体で子どもの成長を支えていけるよう、新潟県国際交流協会では、教育委員会や学校、関係団体などと連携し、次のような取組を行っています。

研修会の実施



教育関係者や支援者、テーマに興味のある方に向けた研修会を年２回開催しています。

令和８年度2回目の研修会は外国につながる高校生・若者をテーマに開催する予定です。詳細が決まり次第、ホームページでお知らせします。

新潟県国際交流協会ホームページ
https://www.niigata-ia.or.jp/

多言語による進路ガイダンス

外国につながる子どもや保護者を対象に、教育委員会の担当者などを招き、日本の教育制度や進路について、通訳を交えて説明するガイダンスを開催しています。

多言語資料の作成

日本の教育制度などに関する多言語資料を作成し、右のホームページで公開しています。

日本語教育支援モデル事業

オンラインを活用した日本語支援や支援員の育成を、県内のモデル地域で試行しています。

外国人相談センターでの電話教育相談

外国につながる子どもたちやその家族、関係者からの教育に関する相談に、専門の相談員が多言語で対応しています。



★日時：毎週火曜日
13:00～17:00
★言語：日本語・中国語・ベトナム語・タイ語・英語・ロシア語

外国人相談センター
https://www.niigata-ia.or.jp/foreign/

3 多様性豊かな地域づくりのために

外国につながる子どもたちを温かく迎えることは、子どもたちの成長を支えるだけでなく、私たちにとっても新たな学びや気づきにつながります。

すべての子どもたちが、国籍にかかわらず安心して充実した学校生活を送ることができる環境を整えることは、これからの新潟の発展と、多様性豊かな地域づくりにつながります。子どもたちが安心して学び、共に成長できる地域を目指して、私たちもできることから一緒に取り組んでいきませんか。

詳しくはこちら！

公益財団法人新潟県国際交流協会
TEL:025-290-5650
https://www.niigata-ia.or.jp/child/

家庭での備え、出来てますか？
災害から家族を守るための大切なこと。

家庭内での備蓄は「**最低３日間**、推奨１週間」分を用意しましょう！

家庭内での備蓄が大事な理由

大きな災害の直後は、物流が正常に機能せず、必要な物資が手に入らないことが想定されます。
普段から、「最低3日間、推奨1週間」分の必要な物資等は、自らの備蓄で賄うことを念頭に備えておきましょう！

ポイント

県や市町村は、基本、家屋倒壊などにより、備蓄した物資等が確保できない住民等、自助・共助が及ばない方々を想定し、備蓄してます。

家庭内で備えておくべきもの

右のイラストでは、「重要品目」として、主に個人が備えるべき、被災者の命と生活環境に不可欠な物資を例示しています。
家族構成や生活スタイルにより、必要となる内容が変わります。一人一人がしっかり備えておきましょう！

ポイント

普段の食品を少し多めに多めに買い置きし、常に一定量の食品が家庭内にある状態を保つ「ローリングストック」も立派な備蓄です。

重要品目


食料


乳児・小児用おむつ


携帯トイレ


大人用おむつ


ﾄｲﾚｯﾄﾍﾟｰﾊﾟｰ



生理用品



乳児用ミルク


水


毛布


哺乳瓶

災害に「皆で備える」というイメージ



県の取組

新潟県では、家庭内備蓄を「皆で備える」取組として、啓発ツールの作成や若者との意見交換など、普及・啓発に取り組んでいます。
これからも、一人でも多くの方が災害への備えを始めるきっかけとなる取組を、さらに広げていきます。

●各種啓発ツールの作成

PRキャラクターや学習用リーフレット等を作成し、家庭内備蓄の普及・啓発を実施！


新潟県
家庭内備蓄普及啓発
キャラクター
「びちくん(仮)」



防災学習向けコンテンツとして、家庭内での災害用備蓄、及び非常用持ち出し袋の準備支援ガイドを制作

●「こども・若者会議」を開催

家庭内での備蓄をテーマに、10～20歳代の若者が参加し、意見交換・発表を行いました！



県のHPでも家庭内備蓄について紹介してるので、チェックしてみてね♪



新潟県公式Webサイト
『災害に対して「皆で備える」～家庭内備蓄のすすめ～』

【問い合わせ先】新潟県防災局防災企画課防災事業係　TEL:025-282-1606

３館（県立図書館・文書館・生涯学習推進センター）連携イベント

学びピア TOYANO 2026

３館が連携して、県民の学びを広げることを目的に「学びピアTOYANO 2026」を開催します。
このイベントは、「新潟県教育の日」関連イベントとして実施します。また、放送大学新潟学習センター連携公開講座（講演会）「やさしくない日本語～日本語は“ありのまま“を言葉にできない?～」も同時開催します。
このほか、体験コーナーやコンサート、特別展示など、楽しく、ためになるイベントも行います。すべてのイベントに無料で参加できます。ぜひお越しください。



○開催日時　令和８年11月８日（日）
○会　　場　新潟県立図書館・文書館・生涯学習推進センター
○内　　容　詳細は「ラ・ラ・ネット」（上記の二次元コード）をご確認ください。

講演会は会場参加とオンライン参加を選ぶことができます。右の二次元コードからお申し込みください。
＊会場参加は当日参加も可能です。
【10月7日（水）より受付開始】

【お問合せ】
新潟県立生涯学習推進センター
所在地　新潟市中央区女池南３－１－２
TEL：025-284-6110
URL：https://www.lalanet.gr.jp/

思い込みを減らして、子どもの可能性を広げよう！

～何気ない思い込みが、子どもの未来を狭めてしまうことがあります～



1 アンコンシャスバイアスとは？

私たちは、これまでの経験や社会の風潮などから、自分では気づかないうちに、特定の人や物事に対して「こうだろう」と思い込んでしまうことがあります。
これが「アンコンシャスバイアス」（無意識の思い込み）です。

意識していなくても、考え方や言葉、言動に影響を与えてしまうのが特徴です。

2 アンコンシャスバイアスをチェックしてみよう！

性別



性別で進路や興味を決めつけてしまう

外見・容姿



外見だけで能力や性格を判断してしまう

性格・特性



性格や特性から可能性を狭めてしまう

過去の経験



過去の経験だけで、今回も同じようにできると判断してしまう

3 アンコンシャスバイアスを減らす3つのポイント

ポイント１
「べき」「普通は」に注意



「男性なら力仕事を率先してするべき」、「女性なら料理が出来るべきだ」本当にそう言い切れますか？
「べきだ」といった押し付けの言葉や「普通は」といった決めつけの言葉が出たら、立ち止まって考えてみましょう。

ポイント２
相手のサインを見逃さない



家族や友人、同僚と話しているときに、急に相手の表情が曇ったり、声のトーンが変わったりしたことはありませんか？そんなときは、自身のアンコンシャスバイアスから出た言動で相手を傷つけたのではないかと振り返ってみてください。

ポイント３
常に自分に問いかける



アンコンシャスバイアスを完全に無くすことは難しいです。だからこそ、常に自身の言動を振り返り、問いかけることが大切です。違和感のあったことをメモしていけば、自分の考え方や物の見方の傾向が掴めるかもしれません。

4 家庭でできること

子どもたちが、ありのままの自分を大切にし、のびのびと成長できる家庭をつくりましょう。

- **意識する**：思い込みに気づくことが第一歩です
- **対話する**：子どもの気持ちを聞き、話し合う時間を大切に
- **尊重する**：子どもの「やりたい」「好き」を応援しましょう
- **一緒に成長する**：子どもとともに、家族みんなで、学び続けましょう

出典：政府広報統計オンライン
「アンコンシャスバイアスを減らす３つのポイント！」をもとに県教育委員会作成